

自治会「ル」記事：南雪谷自治会 日下山公園さくら祭りを盛大に開催

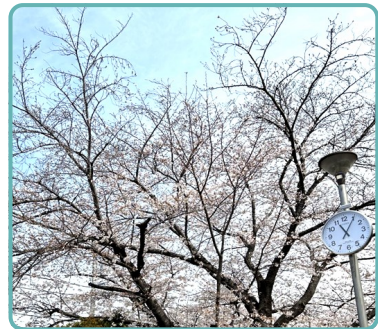
南雪谷三丁目にある日下山児童公園が、この4月に防災機能を備えた日下山公園へと拡張生まれ変わったのを記念して、3月30日（日）に「日下山公園さくら祭り」を5年ぶりに開催しました。

当日は雪谷中学校吹奏楽部による記念演奏で幕を開け、各種模擬店やフリーマーケットを実施。また、並行して南雪谷自治会館では、「就学を祝う会」や南雪会による「ポッチャ体験会」を開催しました。雪谷おやじの会、ミユキ協栄会、第七分団など地域の多くの団体の皆さんの協力のもと、盛りだくさんの内容。天候にも恵まれ、幼児からご高齢の方まで500人を優に超える来場者で、鈴木区長にもお越しいただき盛大に開催。参加者からは、「是非、毎年開催してほしい」との声をたくさんいただきました。

地域を盛り上げていくイベントを通して、隣の人の顔が見える地域を作っていくことは、災害時のスムーズな避難所運営などにもつながっていきます。2月の「餅つき大会」、6月の「潮干狩りツアー」、そして秋の「雪ヶ谷八幡神社例大祭」、年末の「夜警」へと、様々なイベントを通して地域の交流を深め、特に子育て世代の方々に、先ずは自治会の活動を知ってもらうこと、そして興味を持ってもらい、自治会に参加しやすい環境を整えていくことも必要です。

南雪谷自治会では、引き続きこれらイベントと併せ、自治会費の集金方法や活動の告知方法等の見直しなども含めた様々な取り組みを行っていきたいと思っています。

（南雪谷・榊中 規男）



● 着任のご挨拶 ●

日頃より、地域情報紙「ふれあい雪谷」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。今年度から雪谷特別出張所長に着任しました古賀崇彬（こがたかあき）です。よろしくお願いいたします。

この「ふれあい雪谷」は、各自治会の執筆者の方々に四季折々のテーマや日頃の取組などを寄稿していただき、ふれあい雪谷編集委員会により編集作業を行い、年4回（4月：さくら号、7月：あさがお号、10月：もみじ号、1月：新年号）発行しています。雪谷地区の多彩で魅力ある取組を発信するとともに、気候変動に伴い激甚化した風水害に対する備えの重要性についてなど、楽しむことができるだけでなく、読者の皆様のお力になれる情報も盛り込まれております。是非、地域の皆様にはご一読頂きたいと思います。

雪谷地区は景観も魅力的です。坂の多い地域ですが、坂を上りきった後は視界が開けて遠くまで見渡すことができ、とても清々しい気分になります（雪見坂がお気に入りです）。この「ふれあい雪谷」を通じて新しい地域の魅力にふれながら、地域貢献に努めてまいりたいと考えておりますので、雪谷特別出張所の職員一同、よろしくお願いいたします。



（雪谷特別出張所長・古賀 崇彬）

● 編集後記 ●

本号は悲しい戦争体験談そして明るく楽しい祭りや旅行の記事と悲喜交々（ひきこもごも）な内容となりました。

戦後80年が経ち良き時代となった今、戦争を知らずに生まれ育った自分は本当に幸せです。苦しく辛い時代を乗り越えられてきた方々の実体験のお話を後世に伝承し、悲惨な戦争を二度とおこさない国にする事が大事だと思います。



今の時代を生きている私達は気持ちがウキウキする楽しい体験をたくさんしていきましょう。

（東雪・永久保 美代子）

【編集委員】

笹丸：小林 忠雄／雪谷石川台：長谷川 可織／南雪谷：河野 洋一郎／

東雪谷東中：小山 智恵子／東雪：永久保 美代子／

池の台：柏 三八子・宇佐美 恵美子／小池：小山 憲生／上池上：高島 七重

ふれあい雪谷（創刊：平成2年12月20日）年4回発行

（1月：新年号／4月：さくら号／7月：あさがお号／10月：もみじ号／の1日発行）

【発行日】 令和7年 あさがお号 7月1日（通巻：第139号）発行

【発行】 地域力推進雪谷地区委員会【編集】ふれあい雪谷編集委員会

【連絡先】 大田区地域未来創造部雪谷特別出張所

〒145-0065 大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

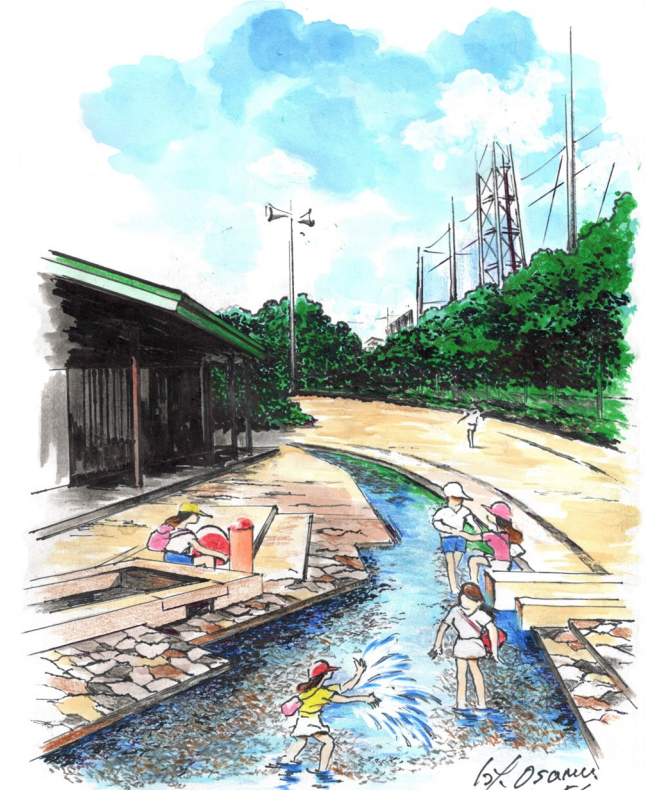
地域情報紙

ふれあい 雪谷

令和7年7月 あさがお号 通巻第139号

雪谷特別出張所管内（令和7年4月1日現在）

世帯数/32,156世帯（前年比737世帯増）総人口/ 62,074人
男/29,836人・女/32,238人



水遊び

東調布公園には水遊びができるせせらぎがあります。夏の日盛り、子供たちの歓声が響きます。水しぶきも上がります。午後は涼しい風に誘われて、しばしお昼寝時間でしょうか。

小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。



雪ヶ谷町の大空襲

1945年になると、米軍は日本内陸の都市をも戦闘機で攻撃するようになっていました。蒲田地区には兵器を作るための軍需工場があり、そのため米軍は、1945年4月15日に蒲田から川崎地区、5月24日に蒲田から池上、雪ヶ谷地区を空襲しました。

私は、今の雪谷小学校から東中方面に抜ける雪見坂を登ったところに住んでいて、池雪国民学校1年生でした。雪谷中学校や雪谷小学校はまだなく、呑川の周辺は畑が広がっていました。戦争が始まると家族で疎開をしていたのですが、この日はたまたま雪ヶ谷の家に戻っていました。5月24日夜、寝る頃になって空襲警報が鳴り、庭に掘ってあった防空壕に家族で移りました。いつもならしばらくして解除となり家に戻るのですが、この日は違いました。爆撃は激しくなり、B29という爆撃機が次々に飛んでくるのが見えました。ここに居ては危険ということになり、父と中学生の兄は家を守るため家に留まり、妹を背負った母と姉と私は逃げることになりました。

防空壕を出た時に空を見たら、地上からの無数の青いサーチライトの線が空で交差し、空一杯B29が飛び、その先頭には地上の様子を照らし出す照明弾でしょうか、明るい落下物がゆらゆらと落ちていきました。母は妹を背負い、私と姉を連れて急な雪見坂を駆け下り、呑川を渡って、畑の溝にうずくまりました。そこには大勢の人が逃げてきていました。家の方を見ると空が真っ赤になっていて、家はもう焼けてしまったのではないかと思い、父と兄のことがとても心配になりました。誰かが、「逃げるときは、機銃掃射でやられないように、溝の中を走るのよ」と言っている声が聞こえ、とても怖かったのを覚えています。

朝になって家に戻ると、父、兄は無事でした。「焼夷弾のかけらが屋根に落ちたけど、すぐに放り出したので火事にならなかった」と言っていました。近所では、焼けた家のおばさんが半狂乱になって泣いていました。防空壕に鉄板を張っていた裏の家では、焼夷弾で防空壕が崩れ、鉄板に挟まれてご夫婦が亡くなっていました。

空襲の翌日、呑川近くの畑の中にアメリカ軍の飛行機が撃ち落とされているという話を聞き、2歳上の姉は見に行きました。畑の中には、飛行機が一機、落ちて壊れており、操縦士が一人亡くなっていたそうです。池雪国民学校の校舎もその夜全部焼けました。私の家の後ろの一軒を残してその先は焼け野原になっていました。B29爆撃機の編隊は、蒲田から池上、今の池雪小学校、石川台駅近くの線路にかかった永久橋上空、というコースで飛んだのだと思います。

(笹丸・浜辺 玲子)

今年は戦後80年の節目の年。
体験を書いてもらいました。

盆踊り

みなさんは盆踊りと聞くと何を思い出しますか？

盆踊りは、もともと仏教の念仏踊りから発展したと言われ、お盆に帰ってきた先祖の霊を慰め、送り出すための儀式として、踊りを通して供養を行っていたと聞きました。

お盆(8月13～15日頃)に祖父母のところに行くと、近所のお寺の駐車場で、やぐらを囲んで踊ったのをよく覚えています。

近年の盆踊りは、地域のお祭りやイベントとして、多くの人が集まって、浴衣を着て踊ったり、屋台で食べ物を楽しんだり、縁日で遊んだり、様々な楽しみ方をしています。踊りの曲も増えているので、それも楽しみの一つですね。

私の住む石川台では7月に納涼盆踊り大会が行われます。曲に合わせてゆきがや太鼓さんが太鼓を叩き、その周りで若男女たくさんの方が浴衣を着て踊っています。また、屋台は自治会の方が中心となり、地域の方・石川台中学校のPTA・洗足池小学校のPTA・石川台中学校の生徒たちの協力があって開催できています。普段は穏やかで静かな地域ですが、盆踊りの日ばかりは人で溢れかえっています。

私は盆踊りと聞くと、子供の頃は太鼓と踊りが楽しみだったのを思い出します。大人になってからは食べたり飲んだりおしゃべりしたりが楽しみに変わったなと思います。ただ、いくつになっても盆踊りは楽しい行事だなとつくづく実感しています。

みなさんも近所の盆踊りに出掛けてみてはいかがでしょうか？
(雪谷石川台・K)



雪谷地区の表彰者

【さくら功労者】

洗足池を守る会 (代表:細井 宏二)

【自治会役員永年在職者】

奥山 徳一	豊田 泰正	佐藤 和子
長井 輝美	荒川 美代子	田中 怜子
木村 ふみ子	矢倉 信行	川崎 勝一
津戸 良治	大平 美津恵	柏 三八子
阿部 博子	小野 壽子	海老澤 芳樹
岸川 成美	和田 孝信	森井 弘子
安藤 よし江	河原 幸男	酒井 るみ子
久保 早美	佐々木 節子	

【退任自治会長】

永久保 孝治

【退任青少年対策地区委員】

石垣 晴子(会長) 上原 孝一(部長) [敬称略]

自治会の親睦旅行

希望ヶ丘自治会では秋の終わりに自治会主催で理事研修旅行を実施しています。実質は自治会役員と会員との親睦を深める行事です。皆さんが行ったことが無くて旅行紙などで話題になっている場所をメインに、観光スポットを旅行会社に加えていただきコースを組んでもらっています。一昨年は静岡の伊豆莚山の願成就院の運慶作の国宝仏像5体の拝観と伊豆パノラマパーク碧テラスからの眺望&みかん狩り、昨年は桐生のもみじ寺として有名な宝徳寺での床もみじの拝観と、あしかがフラワーパークのイルミネーション観賞のコースでした。食事も行先のご当地料理を出してもらっています。参加費は自治会からの補助があるので大変お得です。今年は千葉県いすみ市の神社仏閣に、波の伊八の彫刻を見に行くのもいいかなと思っています。

ところで余談になりますが、鉄道の旅についての耳よりの情報です。50歳以上の方が入会できる大変お得なプランがあります。会費はかかりますが、一部地域が乗り放題になるきっぷの購入などもできます。私は昨年きっぷを3回買って、小布施、松島、平泉、山寺、上越妙高(父方の田舎)等を旅行しました。

(希望ヶ丘・小松 克一郎)

